

「1」の重み

管理課長 荒瀬 勝己

今の職に就くことになったときのこと。当時の上司からいただいた多くのアドバイスの中で、『「1」の重みを大事にして取り組んでほしい』という言葉があった。

仕事上、様々な調査・統計において、わずか「1」の数字の変化に一喜一憂することがある。

私にとって、その最たるは4月、学級編制のときだ。児童生徒があと「1人」転入してきたら、その学年の学級数が「1増」。学級数が増えれば、新たに教職員を1～2人配置することになる。

教職員配置の基準日は、全ての報告が揃うまでの間、緊張しながら数字とにらめっこだ。様々な動きがあった結果、今年度当初は、配置すべき教職員が「1人」足りずにスタートした。あと「1人」。何とかかなと思った「1」に、かなりの時間がかかった。

私にとって、「1」の重みを日々感じているのは教職員の配置であるが、学校では、当然ながら、その対象は児童生徒だろう。

「児童一人一人のよさや可能性を伸ばす」「一人一人の教育的ニーズに応じ・・・」「生徒一人一人が主役」など、学校を訪問させていただくと、どの学校も児童生徒一人一人を大切にし、「誰一人取り残さない」という気概が伝わってくる。

「一隅を照らす山と野と渚の教育」——この便りのタイトルであり、大隅教育事務所の基本目標であるこの言葉にも、教育の光を隅々（一人一人）にまで行き渡らせる強い思いが込められている。

それぞれの「1」の重みを大事にしていこう。

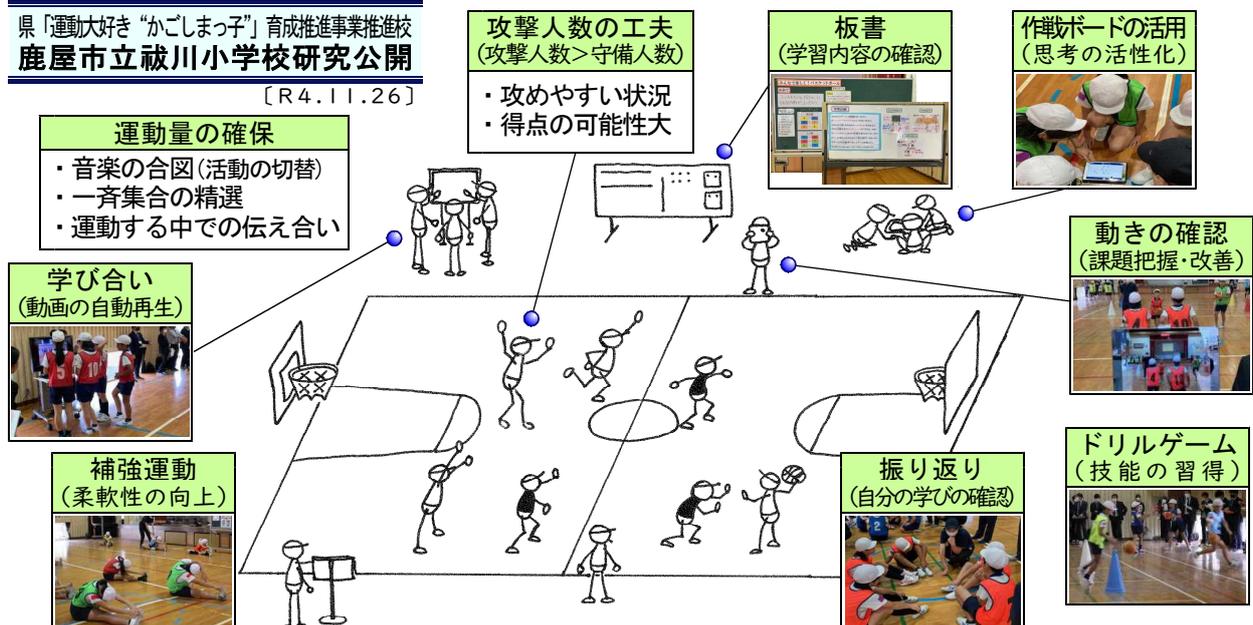
それが、子供たちのよりよい教育に繋がっていくと信じて！

「体育大好き！ 運動大好き！」になる授業を!!

子供に運動の楽しさを十分に味わわせ、「体育大好き！」「運動大好き！」になる授業が大切です。

県「運動大好き“かごしまっ子”育成推進事業推進校
鹿屋市立祓川小学校研究公開

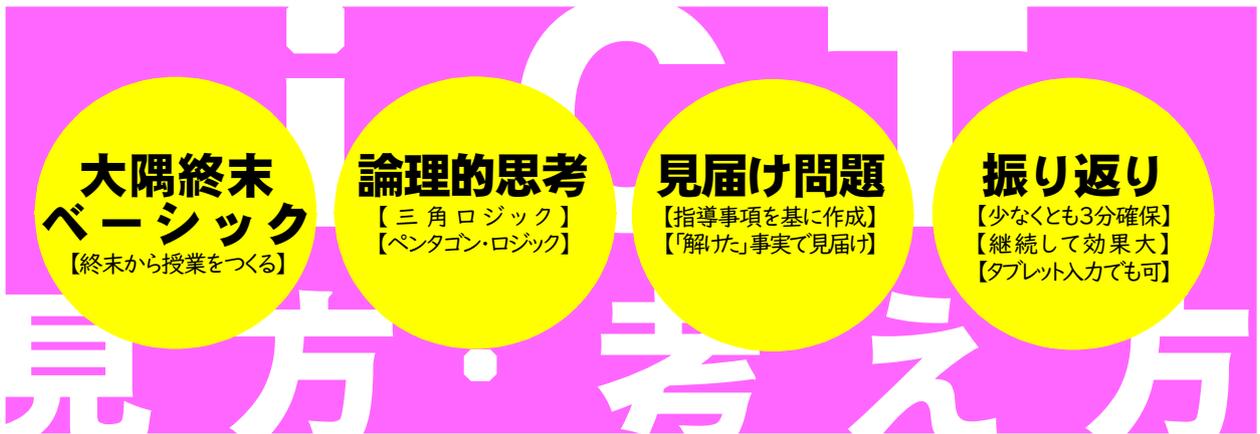
[R4.11.26]



祓川小学校では、学び合い、高め合い、できた実感を味わわせる授業実践に取り組みました。

学力向上を目指した地区研究協力校の取組 ～令和4年度研究公開から～

地区研究協力校では、本事務所が「大隅学力向上リーフレット」の中で紹介している4つのポイントに、「ICTの活用」と「各教科等の見方・考え方」の視点を生かした授業改善が実践されました。



大隅終末ベーシック
【終末から授業をつくる】

論理的思考
【三角ロジック】
【ペンタゴン・ロジック】

見届け問題
【指導事項を基に作成】
【「解が」事実で見届け】

振り返り
【少なくとも3分確保】
【継続して効果大】
【タブレット入力でも可】

肝付町立岸良学園
〔へき地・小規模校教育 R4.11.15公開〕

- 9年間を見通した系統表
- 学習場面に応じたICT活用
- 見方・考え方を働かせる発問

大崎町立持留小学校
〔算数科（ICT）R4.10.13公開〕

- 学習場面に応じたICT活用
- 学び合いでの三角ロジックの活用
- ICTによる振り返りの蓄積

志布志市立田之浦小学校
〔指導法改善（ICT・複式）R4.10.18公開〕

- ICTによる遠隔合同授業
- 発達の段階に応じたガイド学習
- ICTによる確かな見届け

キャリア教育の視点から教育活動を振り返る

キャリア教育では、必要とされる能力や態度を意図的・継続的に育成していくことが求められます。

- 育成が期待される **基礎的・汎用的能力**
 - 人間関係形成・社会形成能力
 - 自己理解・自己管理能力
 - 課題対応能力
 - キャリアプランニング能力

宇都中学校では、4つの能力を意識し、学校行事等をキャリア教育の視点で見直しました。

志布志市立宇都中学校（研究公開）
〔キャリア教育 R4.6.28〕

2年生では、職場体験学習に変え、職業講話や企業ワークショップを行いました。生徒が感想を書いた後、保護者からも感想を書いてもらい、進路について家庭でも話題にしてもらう工夫を行いました。

「考え、議論する道徳」の充実に向けて

「考え、議論する道徳」では、各自の感じ方や考え方を引き出すために、**多様な指導方法**を工夫することが大切です。



多様な指導方法の工夫 〔発問、話し合い等〕

内之浦小学校は、多様な指導方法の中で、特に「**ICTの活用**」に着目して研究を深めました。

肝付町立内之浦小学校（地区道徳教育研修会）

〔特別の教科 道徳 R4.10.28〕

当日は、低（1年）・中（複式3・4年）・高（6年）の授業を公開し、発達の段階に応じたICT活用の工夫を提案しました。

- デジタル教科書で場面把握
- ロイノートで考えを可視化
- タブレット活用で発表を補完

止まれ この状況から何を考えますか？

	R3	R4
交通事故	7	6
交通違反	10	3

R4.12.21現在 大隅地区管内

一人の1が **教職員全体** の行動規範に対する疑念、信頼の喪失に繋がることを再認識してください。

交通違反は減少していますが、交通事故は同程度であることが分かります。「自分の1が教職員全体の1になる」と自覚することや「自分の運転は事故や違反に繋がらないか」と客観的に振り返ることが大切です。

がん教育の実施に当たって

- 必ず**配慮する児童生徒がいること**を前提に指導をお願いします。（自分ががん経験者、家族を亡くしている等）

【保護者に対して】

- ★授業内容の事前のお知らせ
- ★配慮してほしいこと等の把握（個人情報への十分な配慮が必要）



授業改善 1Pointアドバイス⑥ 鍛える

毎日の授業で、「鍛える」という教師の意識がとても重要となる。「考える力」「書く力」「聴く力」「伝える力」「計算する力」等、日々、子供を鍛えていく。この意識が、授業の空気を変える。